

## 入札監視委員会定例会議議事概要

開催日及び場所	平成20年12月1日(月) 東北大学本部第二会議室	
委員	委員長 加藤義雄(仙台市社会福祉協議会会長) 委員 三輪佳久(弁護士) 委員 手島貴弘(公認会計士) 委員 高田敏文(大学院教授)	
審議対象期間	平成20年4月1日～平成20年9月30日	
抽出案件(合計)	7件	(備考) 今回の審議対象期間においては、再苦情の申立ての審議はなし。  「建設工事及び設計・コンサルティング業務における抽出案件の審議」については、抽出案件に係る発注担当者が回答した。
工事(小計)	4件	
一般競争 (政府調達協定対象工事)	1件	
一般競争 (政府調達協定対象工事を除く)	2件	
工事希望型競争	0件	
随意契約	1件	
設計・コンサルティング業務	3件	
委員からの意見・質問、 それに対する回答等	意見・質問	回答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申 又は勧告の内容	・災害対策等の必要性・緊急性の高い事業についても、競争性を確保した適正な入札・契約が執行できるよう、一定枠の金額を予備費として計上する等、予算措置にも配慮されたい。	

委員からの意見・質問、それに対する回答等はできるだけ詳細に記入すること。

質 問	回 答
<p>1．審議対象工事及び業務の抽出について (担当委員より説明)</p> <p>・特になし</p>	
<p>2．建設工事及び設計・コンサルティング業務 における抽出案件の審議</p> <p><u>(1)一般競争入札方式(政府調達協定対象)</u> 【(青葉山3)基幹・環境整備(敷地造成等) 工事】</p> <p>・落札率が相当低くなっているが、契約に適合した履行は確保されるのか。</p> <p>・本件敷地造成工事に継続して計画されている 関連工事等の入札において、本件を落札したことによる有利あるいは落札できなかったこと による不利は想定されるか。</p> <p><u>(2)一般競争入札方式</u> 【(星陵)旧西病棟2階内部改修機械設備工事】</p> <p>・入札参加者が1社であった理由は推測される か。</p> <p>・今後の工事契約において、技術的に対応できる 企業が僅少な場合、一般競争として発注する のか。</p>	<p>・入札金額が最低基準価格を下回っていた ので、入札調査会で低入札価格調査を実施 したところ、低廉になった理由がVE提案 によるコスト縮減を反映した結果である ことを確認した。このことは本学の契約内 容に適合した履行がなされると認める規 準に合致すると判断し、落札者として決定 したものである。</p> <p>・本件の受注者が工事を実施して行くなか で、技術的なノウハウを蓄積していくこと は想定されるが、本件の入札結果が今後の 関連工事の入札に直接影響を及ぼすこと は無いと思われる。</p> <p>・本件は特殊な設備工事で、性能発注で行 わなければならない、極めて難易度の高い ものであり、この工事内容に対応でき得る 企業は国内でも非常に僅かで、1社入札と いう結果はやむを得ないとする。</p> <p>・本件のような、受注者が限定される性能 発注に関しては、特命随意契約として発注 することも考えられるが、原則一般競争 で行っていく方針である。</p>

質 問	回 答
<p>【(星陵)歯学部実習講義棟改修電気設備工事】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入札参加者のうち地元企業は1社のように、入札参加要件に該当する県内企業数はどうか。本件からも貴学の入札の傾向が見て取れるが、高い落札率の案件は入札参加者数が3社未満であり、この点も含めてどう考えているか。</li> </ul> <p>(3) 随意契約方式</p> <p>【生命科学研究科環境制御実験棟実験電力増設その他工事】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現場部局が発注する工事については、中央本部との連携が分断される場合が多く、現場部局と特定業者との癒着や不適切な分割発注が懸念される所だが、この点について貴学の対応策について伺いたい。</li> </ul> <p>(4) 簡易公募型プロポーザル方式</p> <p>【青葉山東キャンパスセンタースクウェア基本設計業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・貴学における設計請負業務に係る予定価格の算出は、公共工事の基準によるものか大学独自のものなのか。</li> <li>・プロポーザルに参加表明のあった22社のうち、貴学の外郭団体やOBが含まれている割合はどのくらいか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入札参加資格の設定条件はごく一般的なものであり、また工事内容も特殊なものではなかったため、県内企業の多くが参加できる入札案件だったと考える。</li> <li>本学の入札で、落札率が大きく下がる要因は、予定価格の積算で見積モノの占める割合が多い場合があげられるが、本件はその比重が少なかったため、予定価格と落札価格との間の開差が少なかったと考えられる。</li> <li>・部局で計画する概算金額が250万円以上の工事については、事前の届け出と事後の報告を義務付け、不適切な分割が行われることが無いよう、本部施設部で一元監視している。また、計画や発注の局面で本部施設部が技術的・事務的な相談に応じる体制になっている。</li> <li>・文部科学省の積算基準に準じている。</li> <li>・外郭団体は含まれていない。またOBがいる企業については、数社程度は有るかもしれないが、具体的には承知していない。なお、委託業者の選定にあたっては、学外者を含めた建設コンサルタント選定委員会で審議し、公平性の確保に努めている。</li> </ul>

質 問	回 答
<p>( 5 ) 競争契約方式</p> <p>【耐震診断等調査業務】</p> <p>・耐震診断業務の入札参加資格に、設計・コンサルティング業務「建築( 設計・施工監理 )」は必要不可欠な要件なのか。</p> <p>・入札公告から契約締結、そして履行期限に至るまでの期間が非常に短く、入札参加者数が少ない要因は、そのような発注計画に問題があると思われるが如何か。</p> <p>( 5 ) 随意契約方式</p> <p>【( 星陵 ) 旧 R I 中央実験室改修設計業務】</p> <p>・予定価格の積算は、部局単独で行ったのか。</p>	<p>・当該資格要件は必要である。</p> <p>・ご指摘のとおりである。事業に係る予算の都合上もあり短期間で実施したが、今後は学内調整を綿密に行い、競争性を損なうことの無いよう十分な期間を確保した発注計画の立案に努めたい。</p> <p>・本部施設部と相談しながら積算したものである。</p>
<p>3 . 意見の具申</p> <p>耐震診断等調査業務のような災害対策等の必要性・緊急性の高い事業についても、競争性を確保した適正な入札・契約が執行できるような発注計画の立案に努められたい。そのために一定枠の金額を予備費として計上する等、予算措置にも配慮されたい。</p>	<p style="text-align: right;">以上</p>